

【5 菊池市 Kikuchi City】



林 信介氏

阿蘇北外輪山西端の鞍岳から

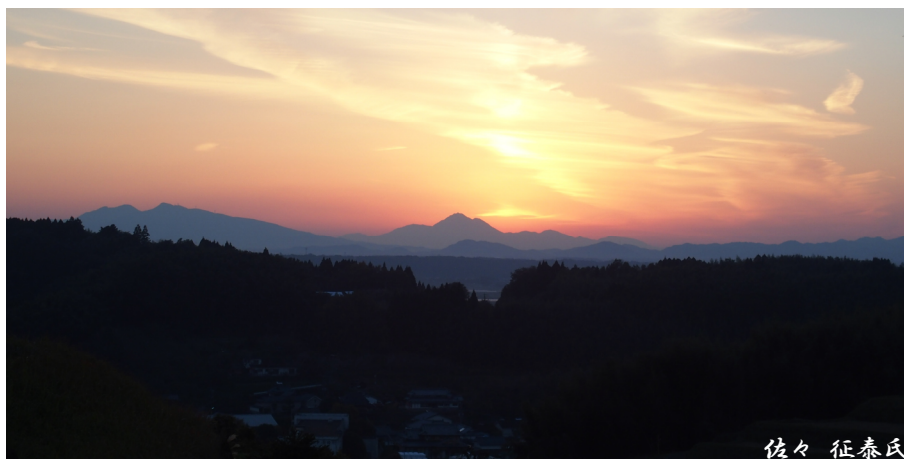
菊池市では、市の中心部を流れる菊池川の流域、東側にそびえる阿蘇北外輪山の鞍岳やツームシ山から、金峰山の外輪山(二ノ岳・三ノ岳)越しに“[東面の雲仙岳](#)”が眺望できます。展望のよい鞍岳やツームシ山の山頂からは、[阿蘇山の中央火口丘\(五岳\)](#)も眺望でき、[阿蘇山と雲仙岳の間の歴史的な大三角形](#)(※阿蘇地域のページ参照)を視覚的にイメージすることが可能です。

中世の時代、本市内に本拠地を置いていた肥後最大の豪族・菊池氏は、大陸からモンゴル(元)が攻めて来た元寇の際にも活躍し、その様子が“蒙古襲来絵詞(もうこしゅうらいえことば)”に描かれています。この元寇の際、[雲仙岳](#)の山岳宗教の中核であった温泉神社が“九州総鎮守”とされていました。日本軍が窮地に立たされた時に、温泉神社の祭神(温泉四面神)が山を下りて元軍の勇者を打ち負かした、との伝説も残っており、九州中の武将が[雲仙岳](#)へ参拝に訪れたと言います。菊池氏も、領内から見える[雲仙岳](#)に特別な思いを抱いていたことと推察されます。

初夏の納涼散策や秋の紅葉で人気の高い菊池溪谷は、[阿蘇北外輪山](#)の湧水を集めながら、菊池川となって市内を流れ、やがて有明海に流れ込みますが、全国一の規模を誇る有明海の干潟の泥は、かつての[阿蘇山](#)の大噴火による噴出物を菊池川や白川などが日々流し込んでいるもので、その泥が外洋に流れ出さないのは、[雲仙岳](#)そびえる[島原半島](#)が有明海の水の出入口を狭めているためです。

[雲仙岳](#)の様々な表情を探しながら、菊池市内を旅してみませんか？

- 菊池市の観光情報はこちら ⇒ 菊池観光協会 <http://www.kikuchikanko.ne.jp/>



佐々 征泰氏

市内の高台から(左は二ノ岳・三ノ岳)